

日本政治学会 会報

The JPSA News

No.46

DEC.2003

ダーバン大会に参加の記

IPSA執行委員 大嶽 秀夫

IPSAの世界大会はいつも二つの問題に悩まされている。一つはノー・ショー、つまり発表者でありながら、堂々無断欠席をする人が多いということ。もう一つは、自分の発表が終わると、「後は野となれ、山となれ」とばかりにさっさと観光に出かけてしまう人（断っておくが今、さしあたり特定の人物の顔を思い浮かべているわけではない）が多くて、その結果、聴衆より発表者の方が多いセッションが少なくないということ。

誰でも申し込みば論文を発表できるというこの大会の開放性がかえって、両刃となり、IPSAでの発表にはあまり高い評価が与えられないというのが、こういった参加者の行動に如実に現れているようだ。つまりアメリカの学者の場合はアメリカ政治学会（APSA）での発表が、ヨーロッパの場合はヨーロッパ政治研究機構（ECPR）での発表の方がより高く評価されるのである。そのため、IPSA組織そのものの知名度は低く、よくアメリカの友人などから「イブサってなんだ？」などという冷淡な反応を受けることがある。

このほど、六月末、南アフリカで行われたダーバンIPSA世界大会は、恒常的な二つの問題に加えて、不幸にも、丁度申し込みの時期にサーズとイラク戦争があって、参加者の出足がくじかれた。又、それとは別に日本でも、発展途上国の研究者は別として、若い政治学者の一部には（これもあえて特定の顔を思い浮かべているわけではないが）、一般に発展途上国に出かけるのを敬遠する傾向が

見られる。治安や衛生面でのことを心配してである。今回などは私としては、次回の福岡大会のためにも、大会の雰囲気や現状把握を含めて、もう少し大勢の日本からの出席者が欲しかったと、残念である。

ダーバン大会は公式的には一千人以上の参加ということになっているが、かなり水増し発表ではないかと推測している。そのため、最初にあげた二つの問題がより顕在化した。もともとダーバン大会ではアフリカ政治学会という一種の連合組織と南アフリカ政治学会との共催という形をとっていたことから、この二つの組織間の連絡が悪くて混乱したという面もあったと囁かれていた。

ダーバン大会は色々な悪条件にもかかわらず、それでも会期の間、まるで初秋のように蒼く澄み切った空とピリっとしたアフリカ特有の風、夜には南半球の見慣れぬ星座を味わうことができた。会議の合間には古い物語めいた波を寄せかえすインド洋の景観を楽しんだ。日本にいれば梅雨特有の蒸し暑さに悩まされているだろうことを思うとなおさら快適であった。アフリカ人の国民性だろうか。どんなに混乱してもどこかおおらかに対処していたことも印象に残った。

ともあれ、先頃イスタンブールで行われた執行委員会の席上では、次回の福岡大会までには、是非ともこの二つの問題を解決しようという案を検討し始めた。

2004年度企画委員会からのお知らせ

2004年度企画委員長 新藤 宗幸

2004年度企画委員会は札幌大学での研究会に向けて作業中ですが、従来の自由論題の報告者公募に加えて、分科会企画自体の公募を行う予定です。

応募の要項については、1月の企画委員会の結論をふまえて、学会ホームページに掲載いたします。

2005年度『年報政治学』論文公募について

2005年度年報委員長 小林 良彰

2005年度『年報政治学』に掲載する論文を、下記の要領で募集致します。

- 1 応募資格：下記の応募時において、日本政治学会会員であること。
- 2 主題：政治学に関わる如何なる主題も可。
- 3 分量：20,000字以内（図表は掲載の大きさにより字数換算し、20,000字の中に含めて下さい）。
- 4 論文提出：①2004年9月18日（必着）です。
②ハード・コピー（A4判、40字 30行）を3部提出して下さい。コピーは返却致しません。ご了解の上で、ご提出下さい。③その際、封書の表に「年報政治学論文応募」と朱書きして下さい。④また「論文表題・御芳名・御所属・連絡

先住所・電話・FAX・メールアドレス」を記したA4 1枚の用紙を添えて下さい。⑤なお、上記の日までの論文提出をもって応募申し込みとしますので、事前の応募登録は不要です。

- 5 採択：年報編集委員会が依託する匿名査読者の評価を経て、掲載の可否を決定し、2005年3月31日までに応募された方にご連絡致します。なお、採択された論文については、その後、あらためてフロッピディスクとハードコピー1部の提出を御願致します。
- 6 宛先：論文提出の宛先は、次の通りです。
〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
慶應義塾大学法学部 小林良彰

研究業績自己申告のお願い

今年度も会員の皆様の研究業績を『年報政治学』に「学会展望」として掲載いたします。同封の研究業績自己申告用紙をお使いになり、下記の要領で、主な業績の自己申告をお願いします。

- 1 申告対象業績：2003年1月1日から12月31日までに刊行された業績。
抜き刷りまたはコピーをできる限り同封してください。なお、お送りいただきました業績は返却しませんので、ご了承ください。
- 2 申告業績本数：主な論文・著書など1、2点

2004年度文献委員長 市川 太一

- 3 専門分野：申告用紙に記載されている専門分野から該当分野の番号を選んでお書きください。
- 4 締め切り：2004年1月31日（土）
- 5 送付先：
〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
広島修道大学法学部内
日本政治学会文献委員会
市川太一
（送付先は学会事務局と異なりますので、ご注意ください）

2003年度 第1回理事会記録

日時：2002年6月14日（土）14時～15時10分
場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナー
ド・タワー0606教室

第1回理事会では以下の事項が報告、協議された。

1. 各委員会報告

(1) 企画委員会

中邨2003年度委員長（常務理事代読）より、本年度研究大会のプログラム案（別添）が示され、準備状況に関する報告があった。

新藤2004年度委員長からは、2004年度企画委員として、荒木義修（松阪大学）、木村正俊（法政大学：入会手続き中）、小林正弥（千葉大学）、城山英明（東京大学）、高原明生（立教大学）、田口晃（北海道大学）、竹中千春（明治学院大学）、御巫由美子（国際基督教大学）、山口二郎（北海道大学）、山本啓（東北大学）の各会員を委嘱したい旨報告があり、了承された。

(2) 年報委員会

渡辺2003年度委員長から、今夏の締め切りに向けて執筆段階に入っている旨報告があった。

御厨2004年度委員長からは、年報委員会・研究会の活動状況とともに、論文公募に最終的に18本の申し込みがあったことが報告された。

(3) 文献委員会

梅川2003年度委員長より、7月末原稿提出予定であることが報告された。

市川2004年度委員長より、安西敏三（甲南大学）、石川晃司（岐阜聖徳学園大学）、梅垣理郎（慶應義塾大学）、鬼塚尚子（帝京大学）、加藤普章（大東文化大学）、小林道彦（北九州市立大学）、澤田真治（岐阜大学）、大黒太郎（福島大学）、平田武（東北大学）、広本政幸（広島修道大学）、御巫

由美子（国際基督教大学）、渡邊啓貴（東京外国語大学）の各会員を委嘱したい旨報告があり、了承された。

(4) 国際交流委員会

久米委員長（常務理事代読）より、①本年度研究大会におけるAPSAとの交流セッションで報告予定であったNancy Burns氏が急きよ参加できなくなったことに伴い、代わってFrances Rosenbluth氏（イエール大学）を招く予定であること、またこの交流プログラム実施のため加藤小委員長名で申請中であった民間研究助成の内定通知があったこと、②イギリス政治学会派遣報告者の募集案内を会報で行ったこと、③日韓交流についても現在助成申請中であることの報告があった。

(5) 選挙管理委員会

石川委員長より、これまでの委員会の活動報告とともに、投票状況に関する中間報告が行われた。なお、投票は6月末日到着分まで有効で、7月6日に委員会による開票を予定している旨、併せて報告された。

2. IPSA世界大会に関する件

蒲島IPSA福岡大会組織委員会事務総長より、組織委員会でもまとめられた2006年IPSA福岡大会（案）が示された。その開催計画との関連で、2006年度総会・研究会の開催について協議が行われた結果、2006年度総会・研究会は福岡でIPSA大会の「プレ・コンGRESS・ミーティング」として、同大会の開会式の前日及び当日に行うこととした。また、それに伴い2005年度総会・研究会は東京・明治大学で開催することも併せて決定された。

3. 新入会員承認の件

以下、13名の入会が承認された。

井口武夫、井口治夫、磯崎裕一、小林淑憲、孔義植、近藤和貴、佐藤学、高田宏史、並河仁、野村高将、廣川嘉裕、堀田学、山口太郎（五十音順・敬称略）

4. その他

- (1) 今年度は臨時総会を行わず、総会を初日にのみ行う提案があり、了承された。
- (2) 2002年度年報の誤植問題に関して、02年度年報への正誤表挟み込みと今年度年報における訂正を行う、との対応策の打診が岩波書店からあった旨、理事長から報告があり、理事会としてはこれを受け入れることとした。
- (3) 稲継常務理事より、学会ホームページの作成に関して、7月初め開設を目前に現在作業中である旨報告がなされた。併せて、ホームページ

開設のための経費として、予備費から3万円を支出する旨の提案が常務理事からなされ、了承された。

- (4) 学会機関誌改革検討委員会座長の小野理事（常務理事代読）から、北岡理事、下斗米理事、待鳥聡（大阪大学）、野田幹事の各会員（あと1名追加予定）を委員として委嘱したい旨の提案があり、了承された。なお、同委員会の活動経費として、予備費から10万円支出する旨、常務理事より提案がなされ、これも了承された。
- (5) 事務局より、2002年度第6回理事会記録を一部修正のうえ確定させることが提案され、了承された。
- (6) 次回理事会は10月4日（土）、5日（日）、いずれも12時より尚美学園大学において開催する旨提案が行われ、了承された。

2003年度 第2回理事会記録

日時：2003年10月4日（土）12時～12時45分

場所：尚美学園大学大会議室

第2回理事会では以下の事項が報告、協議された。

1. 各委員会報告

(1) 企画委員会

中邨2003年度委員長より、本年度研究会の準備過程に関する報告とともに、開催校大木理事から、ペーパー販売額に関する問題提起があった旨の報告がなされた。後者の問題については今後の検討課題とされた。

新藤2004年度委員長から、来年3月を目前に企画の骨格を固めたい旨の報告がなされた。

(2) 年報委員会

渡辺2003年度委員長より、本年度年報の予定通り年内刊行を目指して現在作業が進行している旨報告がなされた。

御厨2004年度委員長からは、研究会活動が順調に行われていること、また11月末に公募論文の受付を締め切り、審査を行う予定であることが報告された。

小林2005年度委員長からは、特集テーマを「市民社会における政治過程」とし、年報委員には河野武司（杏林大学）、曾我謙悟（大阪大学）、建林正彦（関西大学）、谷口将紀（東京大学）、増山幹高（成蹊大学）、待鳥聡史（大阪大学）、山田真裕（関西学院大学）の各会員を委嘱したこと、また科研費に応募する予定であることが報告された。

(3) 文献委員会

市川2004年度委員長より、文献委員として金子芳樹（獨協大学）、三船恵美（中部大学）の二名の会員を追加して委嘱したことが報告された。

(4) 国際交流委員会

久米委員長より、APSAとの交流について、APSA事務局より本年度研究会直前に、APSA派遣メンバーと日本側学会メンバーとの一般的な懇談の場をもちたい旨の要望が届いた点につき、要望の趣旨を確かめて対応すること、日本からの派遣メンバーの募集を10月15日締め切りで現在行っている最中であること、APSA担当の加藤小委員長の辞任の申し入れを受け、久米委員長がAPSA小委員長を残り一年兼任することが報告された。日韓交流については、従来の公式プログラムの方式と費用負担について再確認するとともに、研究会前日に行われてきた韓国政治学会主催の交流セミナーに日本政治学会が公式に協力し現地でのサポートを行うこととしたい旨報告がなされた。イギリス政治学会への派遣報告者の募集については、9月16日に締め切り4人の応募があり、宮本小委員長のもと、現在匿名レフェリーによる審査が行われていることが報告された。

(5) 学会ジャーナル改革検討委員会

小野委員長より、委員として河野勝会員（早稲田大学）を追加委嘱したこと、および学会機関誌の拡充の可能性を探るという当面の活動方針について報告がなされた。

2. 理事選挙結果報告

選挙管理委員長の石川理事より、公選理事選挙結果について報告が行われた。有権者総数（1,513名）、投票率（41.5%）、有効投票総数（628票）について説明が行われた後、当選者（20名）および各々の得票数について報告された。

当選者は以下の通り。

久米郁男、大嶽秀夫、小林良彰、中邨章、河田潤一、渡辺浩、杉田敦、小野耕二、杉本稔、藪野祐三、山口二郎、加藤節、北岡伸一、飯島昇藏、田中愛治、藤本一美、竹中千春、藤井德行、千葉眞、李鍾元（敬称略）

また、8月30日に開催された次期理事長候補者選考委員会で議長を務めた加藤理事より、同委員会における投票の結果、渡辺浩会員が次期理事長候補者として選出されたことが報告された。加茂理事長からは、次期理事選考委員会で15名の推薦候補者が選出されたこと、公選理事とあわせて35名の次期理事の氏名を総会に報告する旨報告があり、承認された。

3. 新入会員承認の件

以下、22名の新入会、2名の再入会が承認された。

浅野和生（再入会）、磯崎初仁、板橋亮平、梅田百合香、椛島洋美、川島真、木村光太郎、木村正俊、小林真里、今野元、坂本治也、清水耕介、鄭敬娥、鈴木創、辻陽、土屋耕平、手塚洋輔、野中尚人（再入会）、原清一、半澤朝彦、東原正明、森道哉、森川正則、山本忠士（五十音順・敬称略）

4. その他

- (1) 第1回理事会記録を原案通り確定させることが提案され承認された。
- (2) 稲継常務理事より、学会ホームページを8月20日に開設したことが報告された。
- (3) 常務理事より、会員数の伸びが近年停滞傾向にある旨報告があり、会員増加のための協力が呼びかけられた。

2003年度 総会議事録

日時：2003年10月4日（土）13時30分～14時10分
場所：尚美学園大学

1. 開会挨拶 大木啓介理事（開催校：尚美学園大学）
2. 理事長挨拶 加茂利男理事長
3. 委員会報告

中邨2003年度企画委員長、新藤2004年度企画委員長、渡辺2003年度年報委員長、御厨2004年度年報委員長、小林2005年度年報委員長、市川2004年度文献委員長、久米国際交流委員長、石川選挙管理委員長がそれぞれ報告した。

4. 決算・監査の件

稲継常務理事より2002年度決算について報告があり、江上監事より監査についての報告を受けたのち、承認された。

5. 予算の件

稲継常務理事より、2003年度予算案について報告があり、承認された。

6. 次期理事・次期理事長選出の件

加茂理事長より、次期理事選出の経過について報告があり、次期理事として次の35名が承認された。（五十音順・敬称略）

飯島昇藏（早稲田大学）、石川捷治（九州大学）、

稲継裕昭（大阪市立大学）、岩本美砂子（三重大学）、大嶽秀夫（京都大学）、小野耕二（名古屋大学）、加藤秀治郎（東洋大学）、加藤節（成蹊大学）、蒲島郁夫（東京大学）、河田潤一（大阪大学）、川人貞史（東北大学）、北岡伸一（東京大学）、久米郁男（神戸大学）、古城佳子（東京大学）、小林良彰（慶應義塾大学）、杉田敦（法政大学）、杉本稔（日本大学）、竹中千春（明治学院大学）、田中愛治（早稲田大学）、田中俊郎（慶應義塾大学）、谷聖美（岡山大学）、千葉真（国際基督教大学）、辻中豊（筑波大学）、中邨章（明治大学）、西澤由隆（同志社大学）、西村茂（金沢大学）、平井一臣（鹿児島大学）、藤井德行（兵庫教育大学）、藤本一美（専修大学）、藤原孝（日本大学）、藪野祐三（九州大学）、山口二郎（北海道大学）、李鍾元（立教大学）、笠京子（香川大学）、渡辺浩（東京大学）

また、理事長より、次期理事会において渡辺浩会員が次期理事長に選任されたことが報告された。

7. 事務局報告

稲継常務理事より、学会ホームページが開設されたこと、また近年の会員数増加の停滞に関して報告があった。

8. 閉会挨拶 大木理事

2003年度 第3回理事会記録

日時：2003年10月5日（日）12時～13時10分
場所：尚美学園大学大会議室

第3回理事会では以下の事項が報告、協議された。

1. IPSA世界大会の件

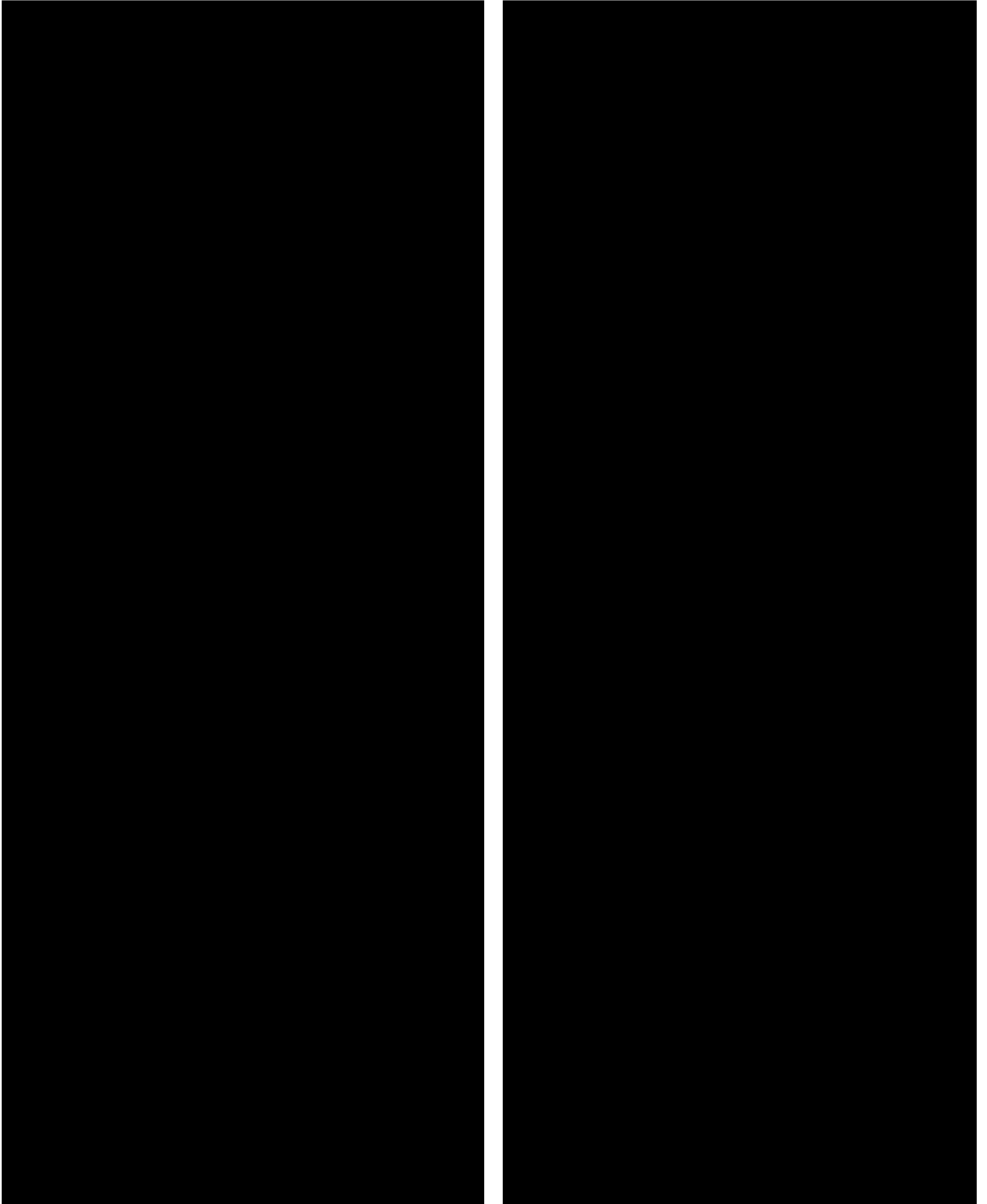
別添資料にもとづき、2006年IPSA組織委員会事務総長の蒲島理事より、収支予算及び寄付金募集方法、事務局体制、業務外部委託などに関する説明が行われた。財政面に関しては、会員から寄付金を募る方向で検討する必要があること、IPSA本部との財務及び任務分担に関する確認が必要であ

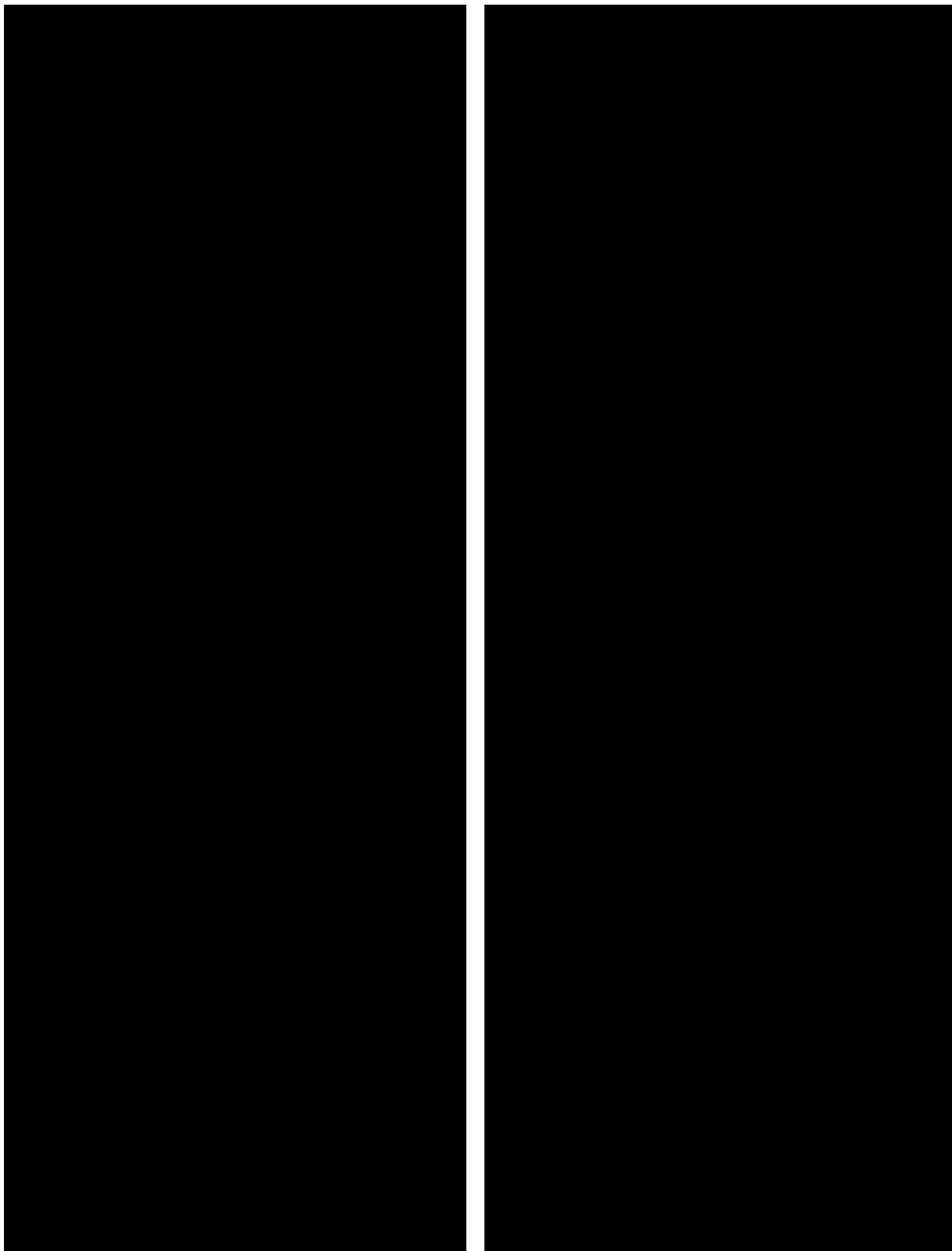
ることが議論・確認された。また、加茂理事長からは学術会議からの助成の前提条件である関連学会からの後援の取り付けに関する状況についての報告と、IPSA大会の企画充実の必要性に関する発言があり、後者については小林プログラム小委員長から補足説明がなされた。この他、関連学会の研究大会の同時開催の可能性や、使用言語などに関する意見交換もあわせて行われた。

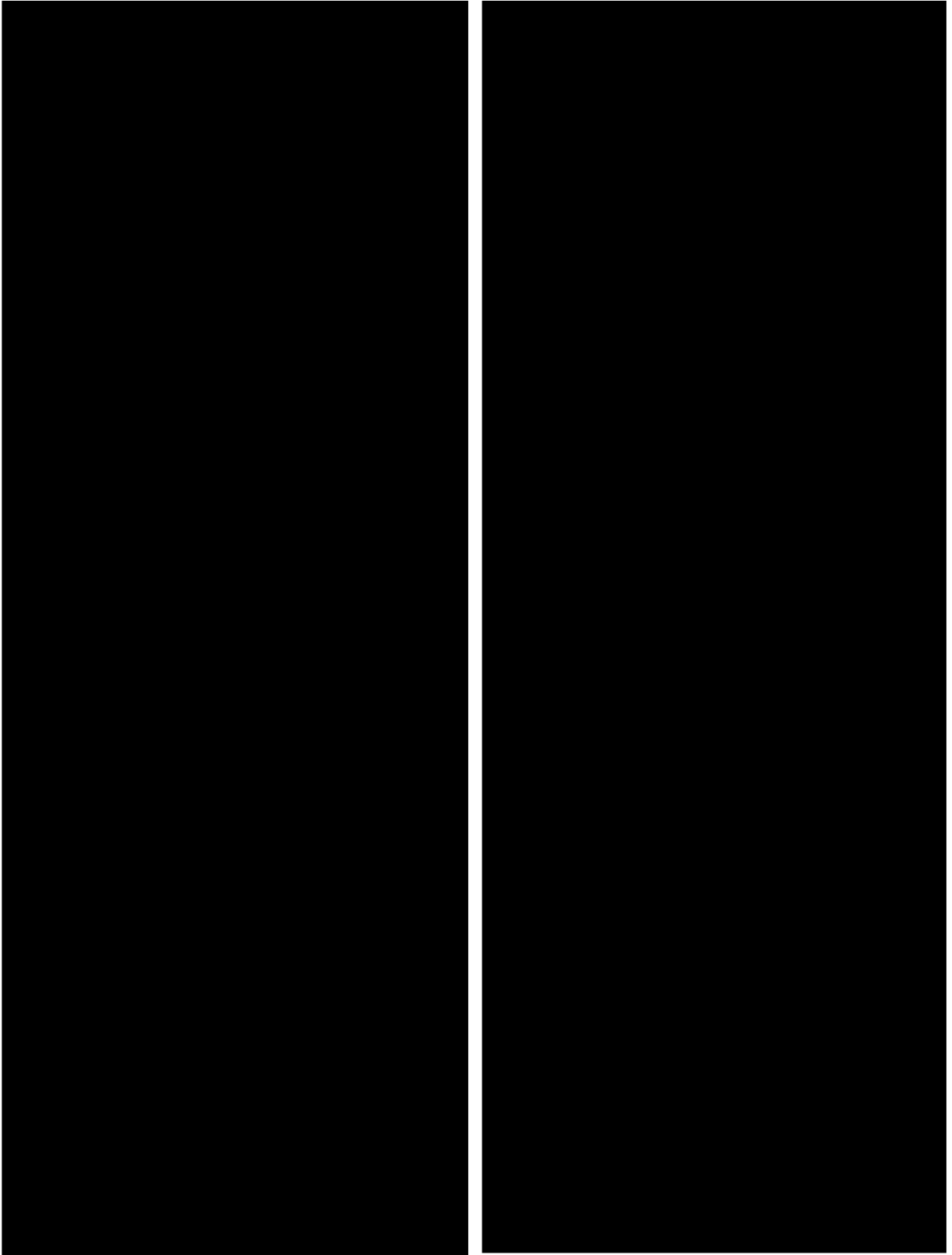
2. 次回理事会日程の件

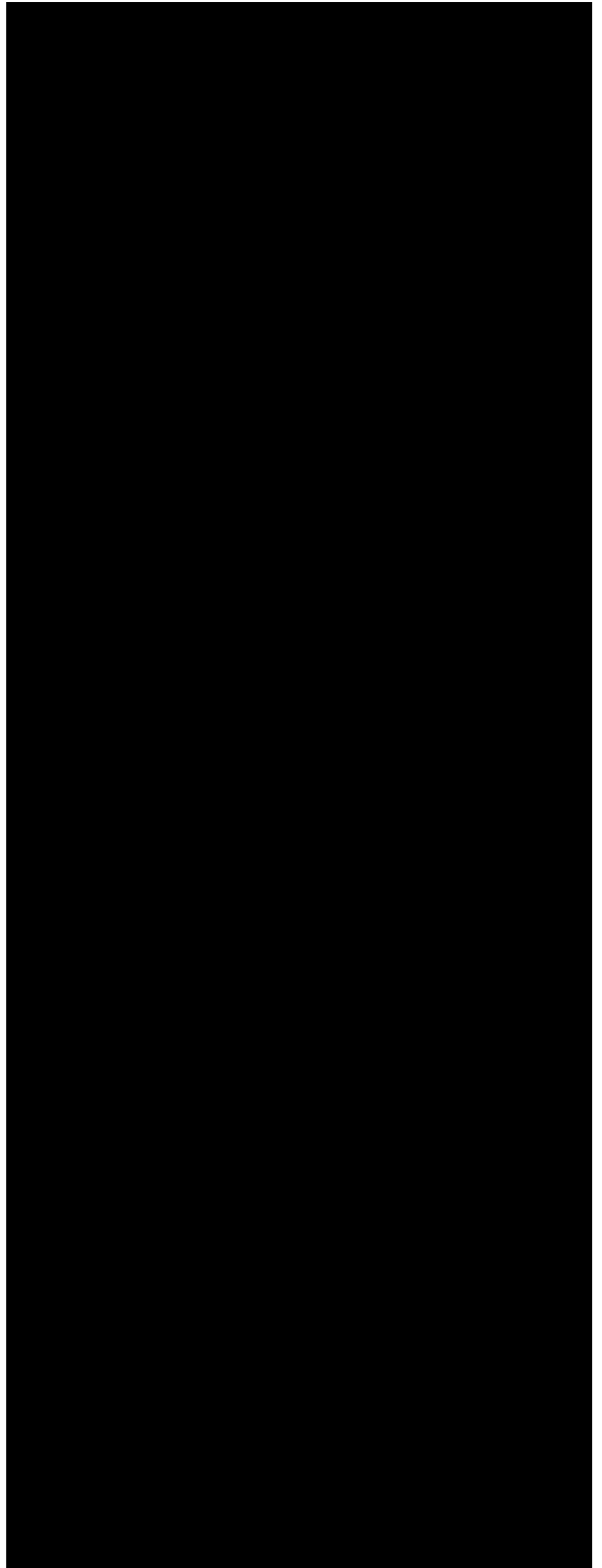
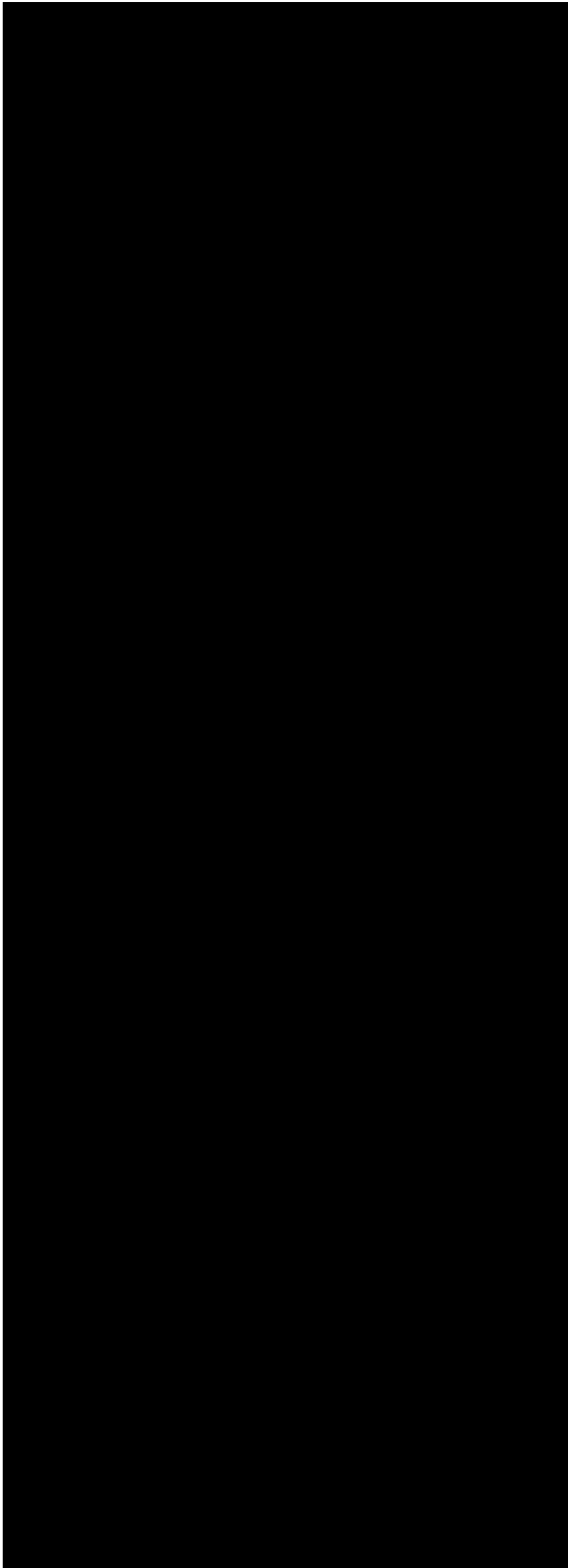
次回理事会は2003年12月6日（土）14時より日本大学にて開催することが承認された。

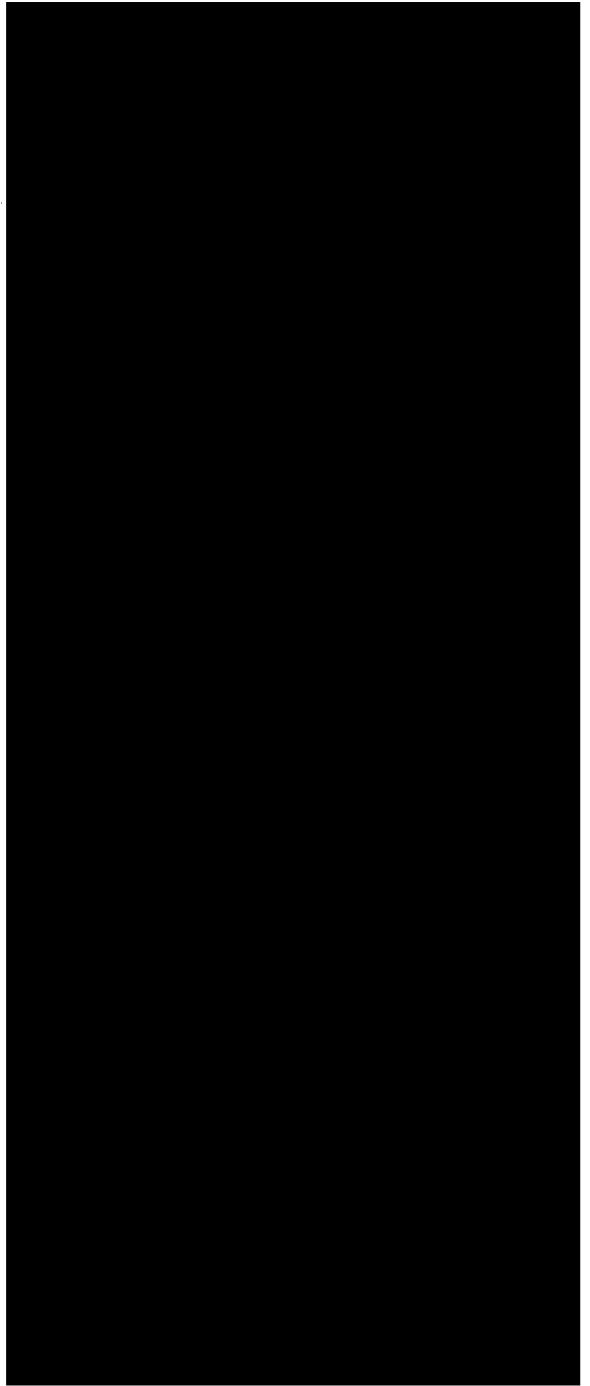
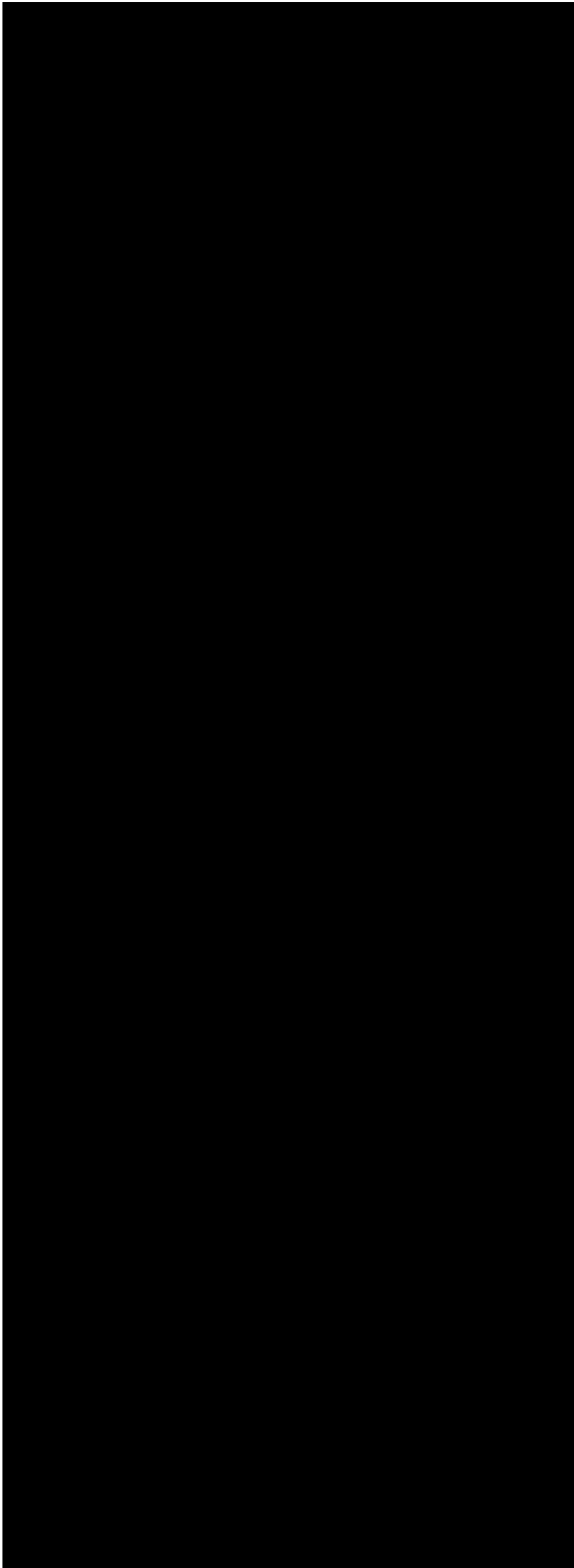
会員の異動











事 務 局 よ り

会費納入についてのお願い

年会費をまだ納めていただけていない会員の方が若干おいでになります。学会事務センターからのご案内させていただいておりますが、何卒速やかにご協力の程お願い致します。一般会員は7,500円、院生会員は5,000円です。

ご不明な点は学会事務センターまでお問い合わせください。

学会ホームページの開設

学会のホームページを開設いたしました。まだ、工事中のページもありますが、徐々に充実させていきたいと思っております。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jpsa2/>

訃 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

中村 哲氏 法政大学名誉教授 政治学、憲法
1912年生

江口圭一氏 愛知大学名誉教授 日本近現代史、
十五年戦争史 1932年生

飯坂良明氏 聖学院大学学長、学習院大学名誉教
授政治学、政治思想 1926年生

内川正夫氏 武蔵野大学現代社会学部教授
日本政治史 1944年生

福田有広氏 東京大学法学部助教授 政治学史
1964年生

本号の目次

1. ダーバン大会に参加の記
大嶽秀夫 …………… 1
2. 2004年度企画委員会からの
お知らせ …………… 2
3. 2005年度【年報政治学】
論文公募について …………… 2
4. 研究業績自己申告のお願い …………… 2
5. 理事会・総会記録 …………… 3
6. 会員の異動 …………… 7
7. 事務局より …………… 12

2003年12月10日発行

発行 日本政治学会事務局

稲 継 裕 昭

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学法学部内

TEL&FAX 06-6693-5031

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jpsa2/>

(財) 日本学会事務センター

〒113-8531 東京都文京区本郷3-22-5

住友不動産本郷ビル7階

研究者情報管理(退会、住所変更、会費)

*所在地・部署名が変更されました。

TEL 03-5814-5810

FAX 03-5814-5825

印 刷 (株) ひまわりぷりんと